

発行責任者：富士根南地区社会福祉協議会



シンボルマーク

根南福祉だより

45号

(広報部)

令和3年度を振り返って

会長 佐野 英夫



地域の皆様には、日頃より富士根南地区社会福祉協議会の福祉活動にご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度も予定していた事業のいくつかが中止もしくは縮小せざるを得ない結果に終わりました。そういった中で感染状況の推移を見守りながら、日時、やり方等を変えて次のことを実施しました。その主なものは、① **三世代交流のグラウンドゴルフ大会**。大岩三区のグラウンドをお借りして子供から大人までの60名が混成チームを結成して、久々のスポーツ親睦を図りました。② **南小1年生との「むかしの遊び教室」**。ソーシャル

ディスタンスを保って地域の支援者66名と好奇心旺盛な児童がグラウンドや体育館で竹馬、縄跳びなど15種目を楽しみました。③ **推進委員を対象とした福祉研修会**。新たに会員になられた推進委員33名と継続推進委員2名の35名が出席。現状の福祉課題を題材に、広々とした杉田区民センターのホールで実施しました。上記以外には、70名余もの申し込みのあった小泉地区の神社、寺院をめぐる「地域を知ろう」イベントは、度重なるまん延防止措置発令で残念ながら次年度の開催を見込んで延期にしました。

その他、**小地域福祉ネットワーク活動状況報告会**、年3回発行の「根南福祉だより」の情報発信は予定通り行いました。

コロナ禍の終息が見えにくい中で、今後、ワクチン接種がすすみ治療薬も開発されて安心安全な日常生活が送れる日々が一日も早く訪れることを願って、この一年の報告とさせていただきます。



「地域福祉活動計画」を策定(市社協)

地域共生社会の実現を目指し

富士宮市社協では第4期地域福祉活動計画を策定しました。これは市地域福祉推進計画に組み入れる計画で、令和4年度から7年度までの4年間を計画期間としています。

ここでは、地域福祉ニーズが多様化・複雑化している中で、公的な福祉制度のみに頼らず、住民参加による地域の支えあいを実現していくため、地域住民や地域組織と連携し、地域で暮らすすべての人々が安心して生活するために制度、支え手や受け手、人や社会資源が世代や分野を超えてつながり、地域を共に創っていく地域共生社会の実現を目指すとしています。

この中の14地区社協の活動計画のうち、富士根南地区社協の行う具体的な取り組みとして、7つの課題に対し13項目の取り組み事項が示されています。例えば、課題7の定期的な見守り活動の実施を検討するに対し、①老々世帯に対して近隣住民で見守りを心掛ける。②老々世帯で困りごとがある人に地域包括支援センターを紹介する等が具体的な活動計画です。

活動計画の実施には、地区社協の活動範囲を超えた部分もありますが、今後、私たちは市社協と協議しながら可能なかぎり、計画の実施に向けた取り組みを進めてまいります。

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、見守りと支えあいのある地域を目指し、みんなで一緒に推進していきましょう。(企画委員長 木ノ内高嘉)

南小1年生とむかしの遊び教室 高野 裕之(小泉5区)

令和3年11月30日(火)富士根南小で「むかしの遊び教室」が行われ、富士根南地区社協の支援事業として協力をいたしました。この事業にご支援、ご尽力下さいました地区社協の推進委員の皆様、ありがとうございました。

私は今回サポート部員としてめんこの部に参加させていただき、過去にもビー玉指導で2度参加したことがあります。

3度の参加で感じたことは、ビー玉もめんこも、本来の遊び方を指導してもビー玉であればカーリングふうアレンジして子供たちは遊んでいました。

めんこもしっかり、自分たちの工夫で楽しんで遊んでいたようですね。私はそれはそれで良かったと思っています。

これからも末永くこの事業が継続されることを願っています。



始めの会



竹馬



ゴム跳び



紙飛行機

お手だま名人のみなさんへ

お手だま名人のみなさんへ、
お手だまは、たのしかったでも
もーいかいお手だまを、
やってこんどは、ここでもやり
たいとおもいます。これからも、よろしくお願いします。

児童からお礼の手紙

かみあそび 名人のみなさんへ

しーかんこうきのつくりか
たは、すすかしいけど
みなさまがおしえてくれ
てくれるよ。かりわん、ありが
とうございませう。ふしぎなこは、より

児童からお礼の手紙

保健委員の活動紹介

豊村 清子 (杉田5区)

保健委員は健康増進課と共に地域住民の健康づくりを推進する活動をしています。まずは自分や家族の健康について、振り返ることから勉強し、徐々に活動の場を地域へ広げていきます。

この3年近くコロナウイルスにより、地域の多くのイベントが中止になり、私たちの活動の場も少なくなっていました。そんな中、私たちの住んでいる地域の健康状況を知るために、特定健診の結果を調べたところ、富士根南地区は高血圧、高血糖、脂質異常が市内の他の地域に比べて高いことがわかり、生活習慣病について学んでいます。

今年は糖尿病について原因や改善策を調べ、公民館まつりでは糖尿病についての掲示物を作成し、発表しました。その他、認知症やうつ病の研修にも参加しています。

早くコロナ感染が終結し、地域の方々へ自分の学んだことを広げていけたらと思っています。



✿✿✿✿✿ 寄り合い処の活動 ✿✿✿✿✿

寄り合い処「つくしの会」大岩1区

会の始めは毎回恒例の「静岡でんでん体操」です。その後は講座で、毎回違った内容の講座を開いています。

認知症講座、健康講座、ヤクルト健康教室、トニー&ジュン（御夫婦）のギター演奏、茶話会、クリスマス会、新年会などがありました。来年度はグランドゴルフや交通安全教室にも挑戦したいと思っています。



コロナ禍のため、2月、3月はお休みですが、また皆さんに会える日を楽しみにしています。お気軽に参加して下さい。（若林留美）

名称 寄り合い処つくしの会

代表 望月 志津江

会場 大岩1区区民館

開催日 毎月第1・3

木曜日

時間 9:30 ~ 11:30



寄り合い処「5区楽」杉田5区

2月は静岡県消費者団体連盟の小林昭子会長による地域消費者生活講座「環境を守る暮らし方」が開催されました。分かりやすく話され、実例などから、一人一人の意見も取り上げて頂きました。講話の途中には替え歌の合唱やミニコントが入り、参加者は様々な環境問題に対する解決策について楽しみながら理解を深めました。

（深澤 勇）

名称 寄り合い処5区楽

代表 杉山 武博

会場 杉田5区区民館

開催日 毎月第3月曜日

時間 13:30 ~ 15:30

広報 5区楽回報（毎月発行）

内容 体操、音楽、踊り、ゲーム、折り紙、脳トレ、バースデー、七夕、クリスマス他



富士根地域包括支援センターって？

富士宮市から委託を受けた公的な機関です。富士根地区にお住まいの方々が、地域で安心した生活をするように主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師が連携しながら、介護に関する相談をはじめ、医療や健康、福祉や権利擁護に関することなどあらゆる相談に応じています。

令和3年4月～令和4年3月の新規相談件数は315件でした。

一番多い相談は介護保険にまつわる相談です。制度の説明や申請代行、ケアマネージャー探しなど状況に応じて適切なサービスの利用に繋がっています。

次に多いのは認知症にまつわる相談です。認知症の進行が心配な方からのご相談や認知症の対応についてなど内容は様々です。

また、富士宮市には認知症の方が働く場所や認知症について気軽に話せる集いの場所があるのでその方にあった場所を紹介しています。

4月1日から富士宮市ではもしもの時のための「救急かけはし」という消防と連携したサービスも始まります。

私たち地域包括支援センターは少しでも地域の皆さんの不安な気持ちが解消出来るよう一緒に考えていきたいと思っています。



左から社会福祉士（星野）、センター長兼主任介護専門員（小代田）、社会福祉士（千代）、看護師（大内）

富士根地域包括支援センターにお気軽にご相談下さい！

【営業日】平日の月～金曜日（8:30～17:15）

【場所】〒418-0022 富士宮市小泉1854-3

☎ **(0544)21-3611**

ハナアブはどっち？

丸山 孝（杉田1区）

春の花にはミツバチの他にハナアブがよく来ます。どちらも花粉媒介昆虫として重要ですが、どっちがハナアブかわかりますか。ちなみにハナアブは人を刺したりしません。

A



- ・後足に花粉をつけていることが多いです。
- ・翅は4枚あります。
- ・触角は長いです。
- ・Bより蜜を集める能力が高いです。

B



- ・体のわりに眼が大きいです。
- ・翅は2枚あります。
- ・触覚は短いです。
- ・Aより寒さに強いです。

景 1/4 2/4 3/4 4/4 5/4 6/4